

3 年表 (パネルディスカッションで発言のあったエピソードと、横浜市立図書館の歴史を中心に作成)

年	横浜	横浜市立図書館	年
安政 1 (1854)	横浜村で日米和親条約締結(日本の開国)		安政 1 (1854)
5 (1858)	神奈川で日米修好通商条約締結。		5 (1858)
6 (1859)	神奈川(横浜)・長崎・箱館(函館)開港		6 (1859)
万延 1 (1860)	外国人遊歩区域の見張番所を設置		文久 1 (1861)
慶応 2 (1866)	慶応大火(関内の大半が焼失)		慶応 2 (1866)
3 (1867)	根岸競馬場で競馬開催 馬車道に街路樹を植栽(近代街路樹のはじめ)		3 (1867)
明治 1 (1868)	明治維新。神奈川県の誕生		明治 1 (1868)
4 (1871)	伊勢山皇大神宮竣工		4 (1871)
5 (1872)	横浜(現:桜木町駅)-新橋間鉄道の開業式(日本初の鉄道開通) 横浜本町通・大江橋間にガス灯が点灯		5 (1872)
7 (1874)	吉田新田の埋め立てにより、伊勢佐木町が誕生		7 (1874)
9 (1876)	彼我公園(現:横浜公園)開園 成田山教会所(後の野毛山不動尊延命院)が南区から移転		9 (1876)
13 (1880)	横浜正金銀行が開業する		
20 (1887)	野毛山貯水池から水道配水開始(近代水道のはじめ)		20 (1887)
22 (1889)	横浜市制施行		22 (1889)
27 (1894)	横浜港鉄桟橋(現:大桟橋)完成		27 (1894)
30 (1897)	横浜船渠第2号ドック竣工(第1号ドック竣工は大正2年)		30 (1897)
32 (1899)	条約改正で居留地撤廃		32 (1899)
37 (1904)	横浜正金銀行本店(現:神奈川県立歴史博物館)竣工 横浜電気鉄道(のちの市電)、神奈川-大江橋間開通		37 (1904)
39 (1906)	本牧三溪園開園		39 (1906)
44 (1911)	新港埠頭赤レンガ2号倉庫竣工(1号倉庫竣工は大正2年) オデヲン座開館		44 (1911)
大正 4 (1915)	2代目横浜駅、高島町に開業	横浜市図書館中村町仮閲覧所(大正12年頃) 『横浜市図書館概要』(昭和2年)より	大正 4 (1915)
6 (1917)	開港記念横浜会館(現:横浜市開港記念会館、ジャックの塔)竣工		6 (1917)
8 (1919)		開港60年・自治制30周年記念事業として 図書館の建設を計画。	8 (1919)
10 (1921)		横浜公園内の建設事務所内仮閲覧所で 図書の閲覧開始(横浜市図書館の開業)。	10 (1921)
12 (1923)	関東大震災。横浜の被害家屋9万4000戸、 死者・行方不明者2万3000人以上	関東大震災により建物と蔵書を焼失。 中村町のバラックに仮閲覧所を設置し、閲覧開始	12 (1923)
13 (1924)		横浜公園内に仮本館が竣工。	13 (1924)
15 (1926)	野毛山公園開園		15 (1926)
昭和 2 (1927)	ホテルニューグランド竣工	旧老松小学校跡に横浜市図書館竣工。	昭和 2 (1927)
3 (1928)	横浜市震災記念館が横浜市図書館隣に開館 神奈川県庁(キングの塔)竣工 3代目横浜駅(現:横浜駅)開業		3 (1928)
4 (1929)	商工奨励館開設		4 (1929)
5 (1930)	山下公園開園		5 (1930)
9 (1934)	横浜税関(クイーンの塔)竣工		9 (1934)
10 (1935)	復興記念横浜大博覧会開催		10 (1935)
20 (1945)	横浜大空襲(市街地の44%)に被害。終戦 マッカーサーが横浜に進駐 米軍、横浜市中心部を接收	横浜連隊区司令部の接收により戸部小学校に移転。 図書館の建物は、終戦後米軍に統いて市復興局が使用。 戸部小学校から教育会館に移転。	20 (1945)
21 (1946)	新円切替		21 (1946)
22 (1947)	横浜国際劇場が開場	移転先より野毛に復帰。開架式で閲覧業務を再開。	22 (1947)
23 (1948)	美空ひばりが横浜国際劇場に出演		23 (1948)



横浜市図書館中村町仮閲覧所(大正12年頃)
『横浜市図書館概要』(昭和2年)より



横浜市図書館

年	横浜	横浜市立図書館	年
昭和 24(1949)	野毛、反町で日本貿易博覧会開催 野毛山プール開場		昭和 24(1949)
25(1950)	市役所が貿易博反町会場に移転	館外個人貸出開始。 図書館法公布で閲覧無料となる。	25(1950)
26(1951)	野毛山動物園開園 桜木町事件(死者106人)		26(1951)
27(1952)	対日平和条約が発効。日本の接收解除進む		27(1952)
29(1954)		団体貸出事業開始。 読書週間行事として1日図書館長(女優 岸恵子)実施。	29(1954)
31(1956)	横浜市が政令指定都市になる 横浜駅西口の開発が始まる		31(1956)
33(1958)	開港百年記念祭が行われる		33(1958)
34(1959)	現在の市庁舎が落成	貸出文庫用自動車購入。翌年1月から本格的に配本開始。	34(1959)
35(1960)		日吉閲覧所開設(44年9月団体貸出に移行)。	35(1960)
36(1961)	横浜マリンタワー完成(横浜開港100周年記念事業)		36(1961)
38(1963)		新館増改築工事竣工。	38(1963)
39(1964)	根岸線桜木町-磯子間開通 東海道新幹線が開通し新横浜駅ができる		39(1964)
40(1966)	野毛山展望台設置		40(1966)
42(1967)	平潟湾の埋め立てが完成		42(1967)
45(1970)	港北ニュータウン建設事業に着手	移動図書館「はまかぜ1号・2号」による巡回貸出開始。	45(1970)
46(1971)	金沢地先埋め立て事業に着手		46(1971)
47(1972)	横浜市電、トロリーバス全廃 横浜市営地下鉄(上大岡-伊勢佐木長者町間)開通	(はまかぜ号の本棚に集まる人たち (移動図書館はまかぜ号の巡回が始まった昭和45年頃) (中央図書館所蔵 日吉光夫氏提供))	47(1972)
49(1974)	横浜市の人口が250万人を突破	磯子図書館開館。市立図書館2館となる。	49(1974)
52(1977)		山内図書館開館。市立図書館3館となる。	52(1977)
53(1978)	大通り公園、横浜スタジアム完成	戸塚図書館開館。市立図書館4館となる。 初めて貸出にコンピュータ方式を採用。	53(1978)
55(1980)		鶴見図書館、金沢図書館、港北図書館開館。 市立図書館7館となる。	55(1980)
57(1982)	米軍横浜海浜住宅地区が接收解除	保土ヶ谷図書館開館。市立図書館8館となる。	57(1982)
58(1983)	みなどみらい21事業着手		58(1983)
60(1985)	横浜市営地下鉄、舞岡-新横浜間開通 横浜市の人口が300万人を突破	瀬谷図書館開館。市立図書館9館となる。	60(1985)
61(1986)	第1回野毛大道芸開催	旭図書館開館。市立図書館10館となる。	61(1986)
62(1987)	横浜市営地下鉄、舞岡-戸塚間が開通	港南図書館開館。市立図書館11館となる。 地域図書館の火～木曜日の開館時間を午後7時までに延長(金曜日は以前から午後7時)。	62(1987)
平成 元(1989)	市政100周年、開港130周年記念式典開催 横浜ベイブリッジ開通	神奈川図書館開館。市立図書館12館となる。 泉図書館、栄図書館、中図書館開館。 市立図書館15館となる。	平成 元(1989)
2(1990)		横浜市図書館を解体、中央図書館着工。	2(1990)

年	横浜	横浜市立図書館	年
平成 3 (1991)	横浜国際平和会議場(パシフィコ横浜)完成	神奈川県図書館情報ネットワークシステム(KL-NET)に加入。	平成 3 (1991)
4 (1992)		南図書館開館。市立図書館16館となる。	4 (1992)
5 (1993)	横浜ランドマークタワー竣工 横浜市営地下鉄、新横浜-あざみ野間開通		5 (1993)
6 (1994)		中央図書館全面開館。図書館情報システム全面稼動。  現在の横浜市中央図書館	6 (1994)
7 (1995)		都筑図書館、緑図書館開館。 市立図書館18館となる。1区1館の達成。	7 (1995)
8 (1996)		中央図書館で来館困難な障害者に対する配送貸出サービス開始。	8 (1996)
10 (1998)	横浜みなとみらいホールがオープン	図書館ホームページを開設、インターネットによる蔵書検索サービス開始。	10 (1998)
11 (1999)	よこはま動物園(ズーラシア)開園 横浜市営地下鉄、戸塚-湘南台間開通	磯子図書館、磯子区総合庁舎に移転開館。	11 (1999)
12 (2000)	横浜情報文化センター開業	中央図書館の火～金曜日の開館時間を作午後8時30分まで延長。	12 (2000)
13 (2001)	横浜トリエンナーレ2001開催	市立図書館全館で月曜日開館開始。	13 (2001)
14 (2002)	FIFAワールドカップ韓国・日本開催 横浜赤レンガ倉庫、大桟橋国際ターミナルオープン 横浜市の人口が350万人を突破		14 (2002)
16 (2004)	みなとみらい線開通		16 (2004)
17 (2005)	横浜トリエンナーレ2005開催	ホームページに「Yokohama's Memory 『都市横浜の記憶』」を公開。 インターネットでの予約サービス開始。	17 (2005)
20 (2008)	横浜市営地下鉄グリーンライン(中山駅-日吉駅間)開通 横浜トリエンナーレ2008開催		20 (2008)
21 (2009)	横浜開港150周年	全地域図書館にインターネット閲覧サービス拡大。	21 (2009)
22 (2010)	「APEC(アジア太平洋経済協力)首脳会議」開催	山内図書館で指定管理者による運営を開始、 あわせて平日火～金曜日の開館時間を午後8時30分まで延長。 中央図書館司書補助業務委託、及び書誌作成業務委託導入。 「横浜市立図書館司書人材育成計画」策定。	22 (2010)
23 (2011)	2代目野毛山展望台オープン 横浜トリエンナーレ2011開催	「横浜市立図書館アクションプラン」を策定。 「横浜市教育振興基本計画」策定。 「蔵書再構成5か年計画」を策定。 「横浜市立図書館児童サービス5か年計画」策定。 都筑図書館、戸塚図書館等司書補助業務委託導入。 簡易版蔵書検索システム開始。 横浜市立図書館創立90周年記念事業開催。	23 (2011)